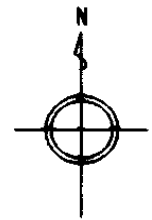
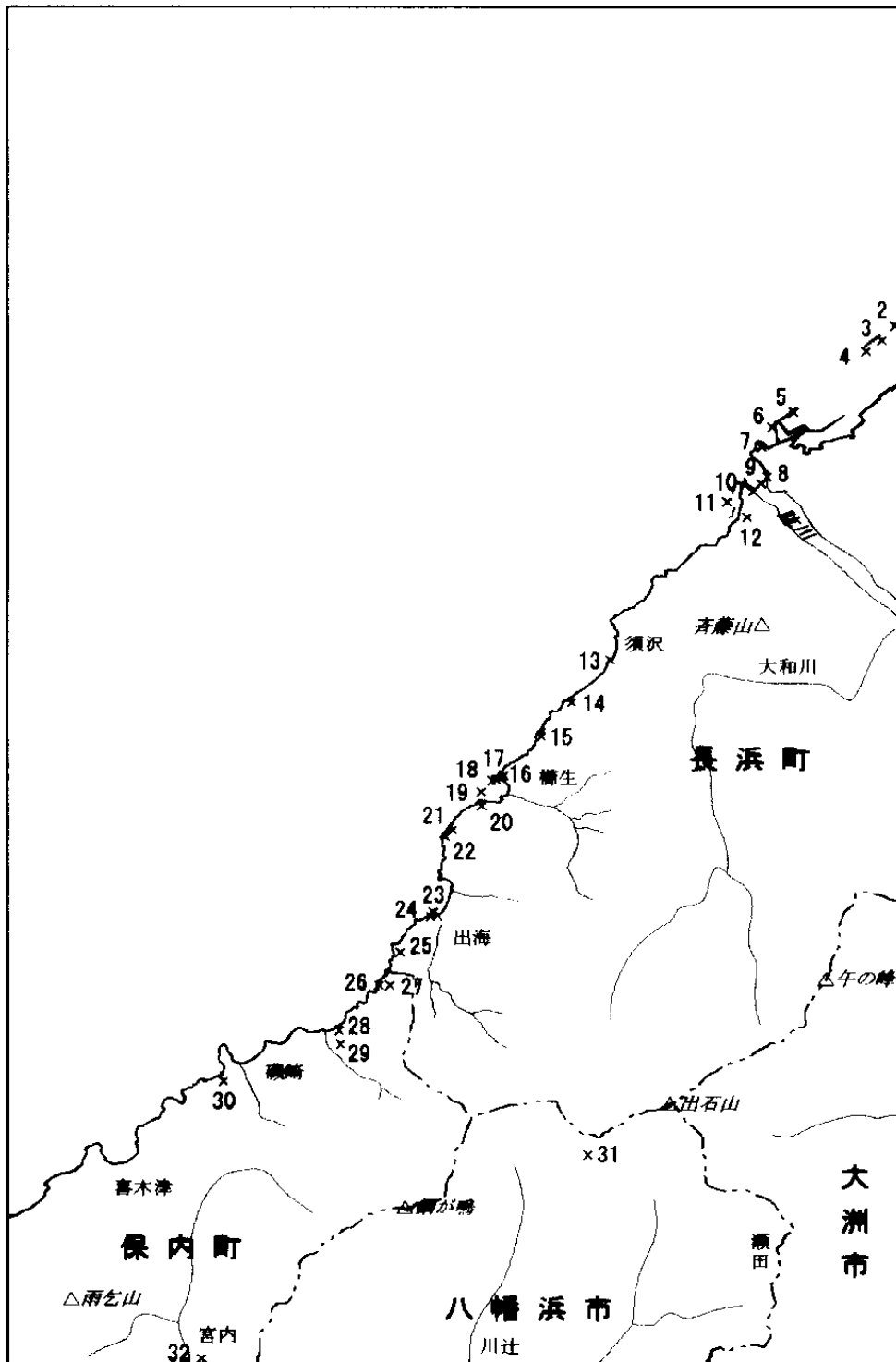


巻末付図

ボーリング位置図
ボーリング柱状図
音波探査記録例位置図
音波探査記録例

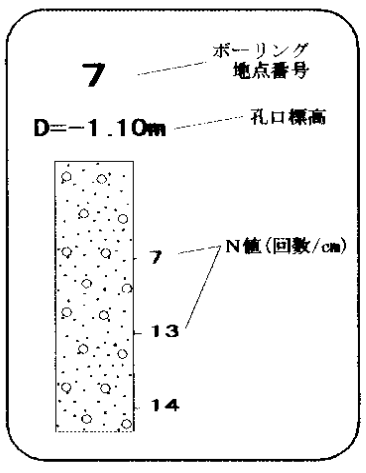


× ボーリング位置
 29 ボーリング番号

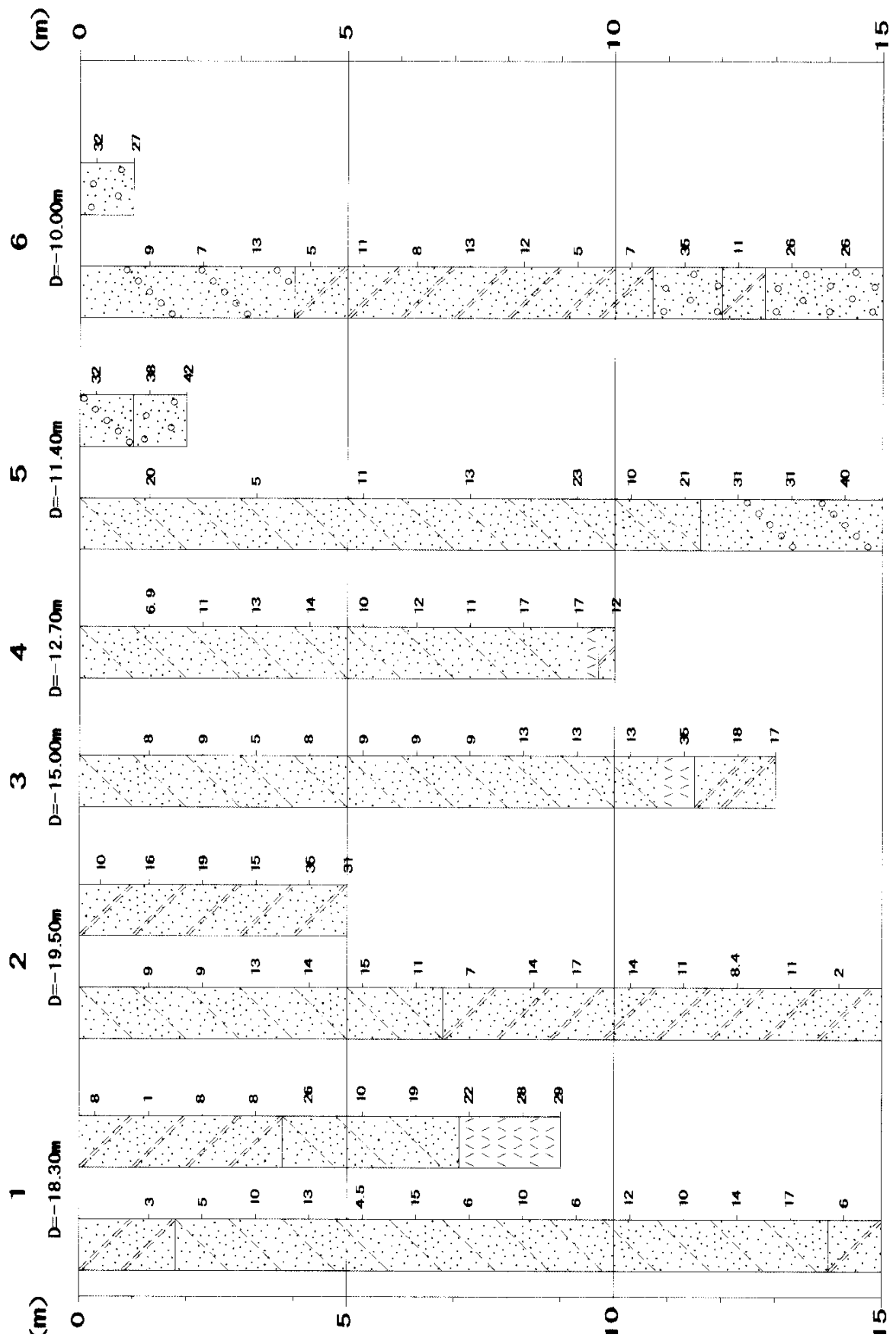


ボーリング位置図

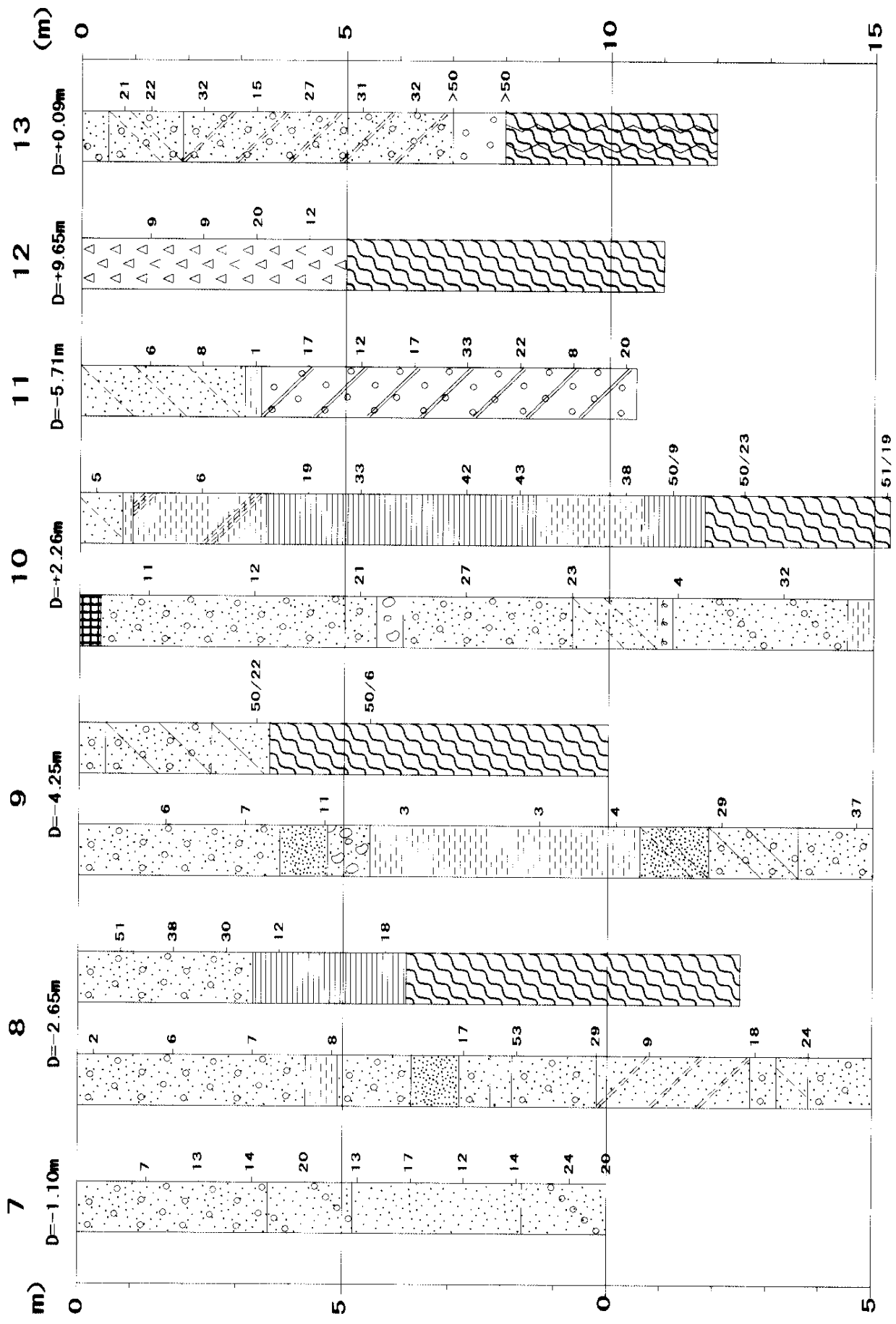
砂		砂質		砂混じり	
シルト		シルト質		シルト混じり	
粘土		粘土質		粘土混じり	
礫		砂礫		礫混じり	
崩積土		火山灰		腐植物	
玉石		捨石		表土・盛土	
緑色片岩		黒色片岩		石英片岩	
風化		強風化			



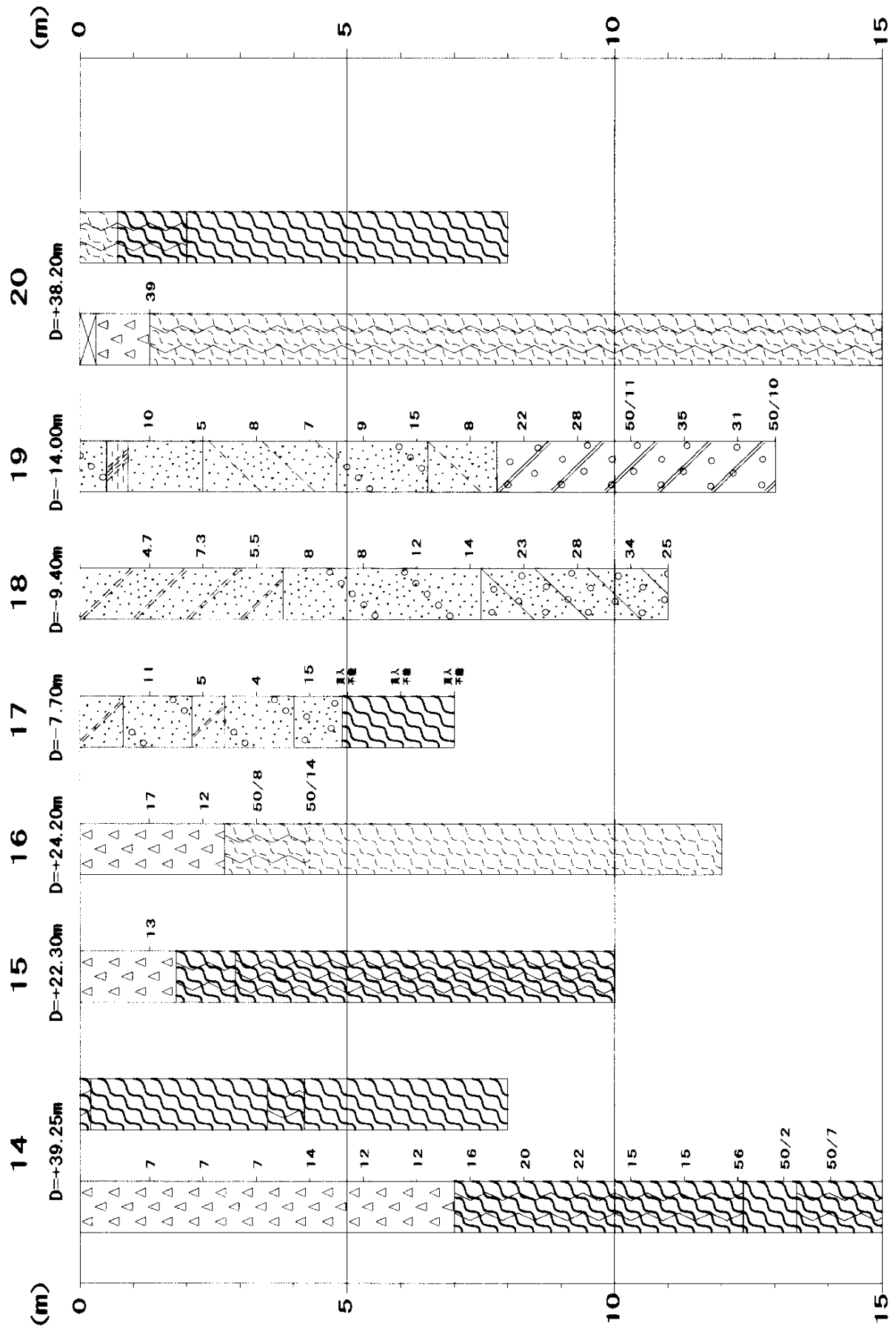
ボーリング柱状図凡例



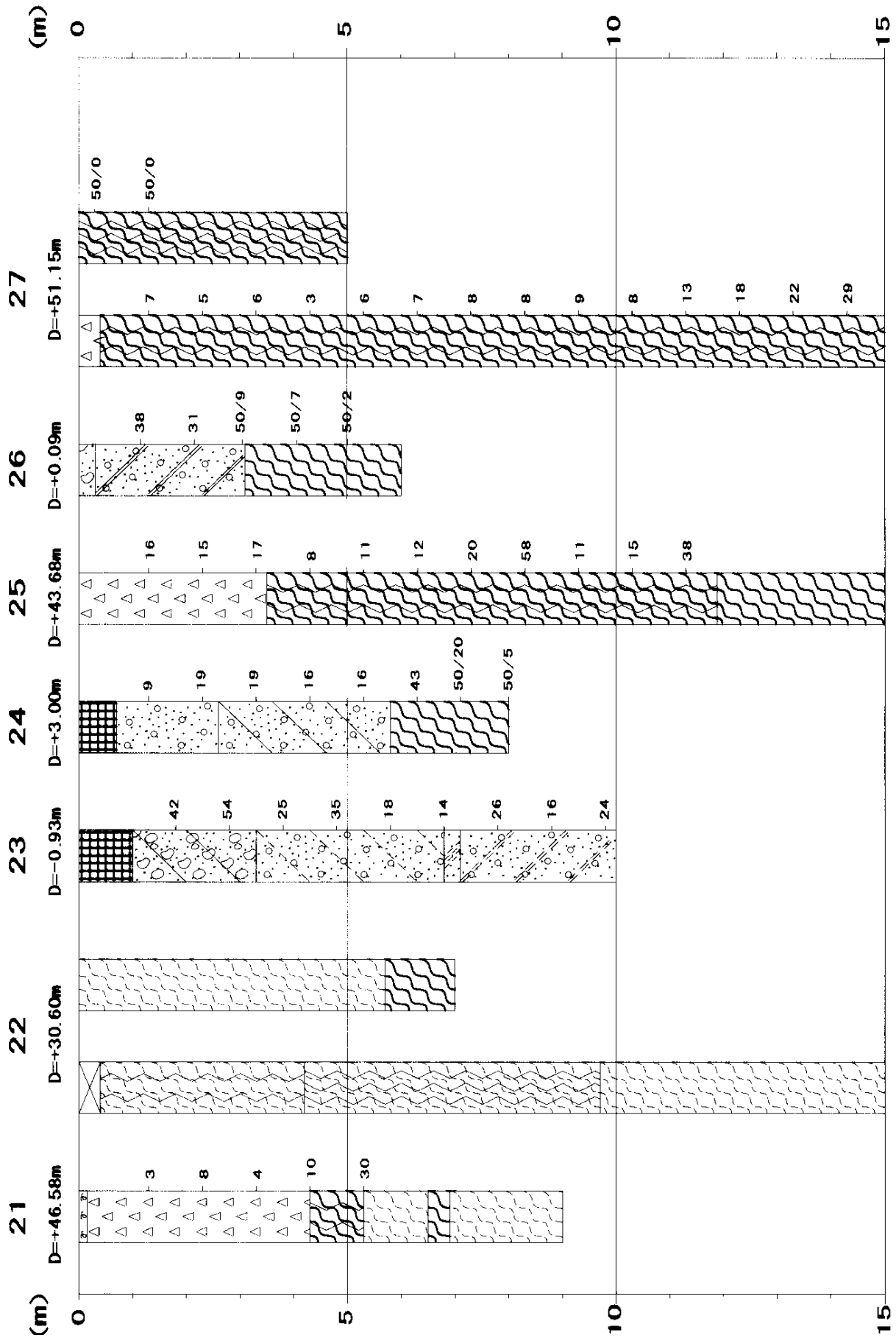
ボーリング柱状図 (その1)



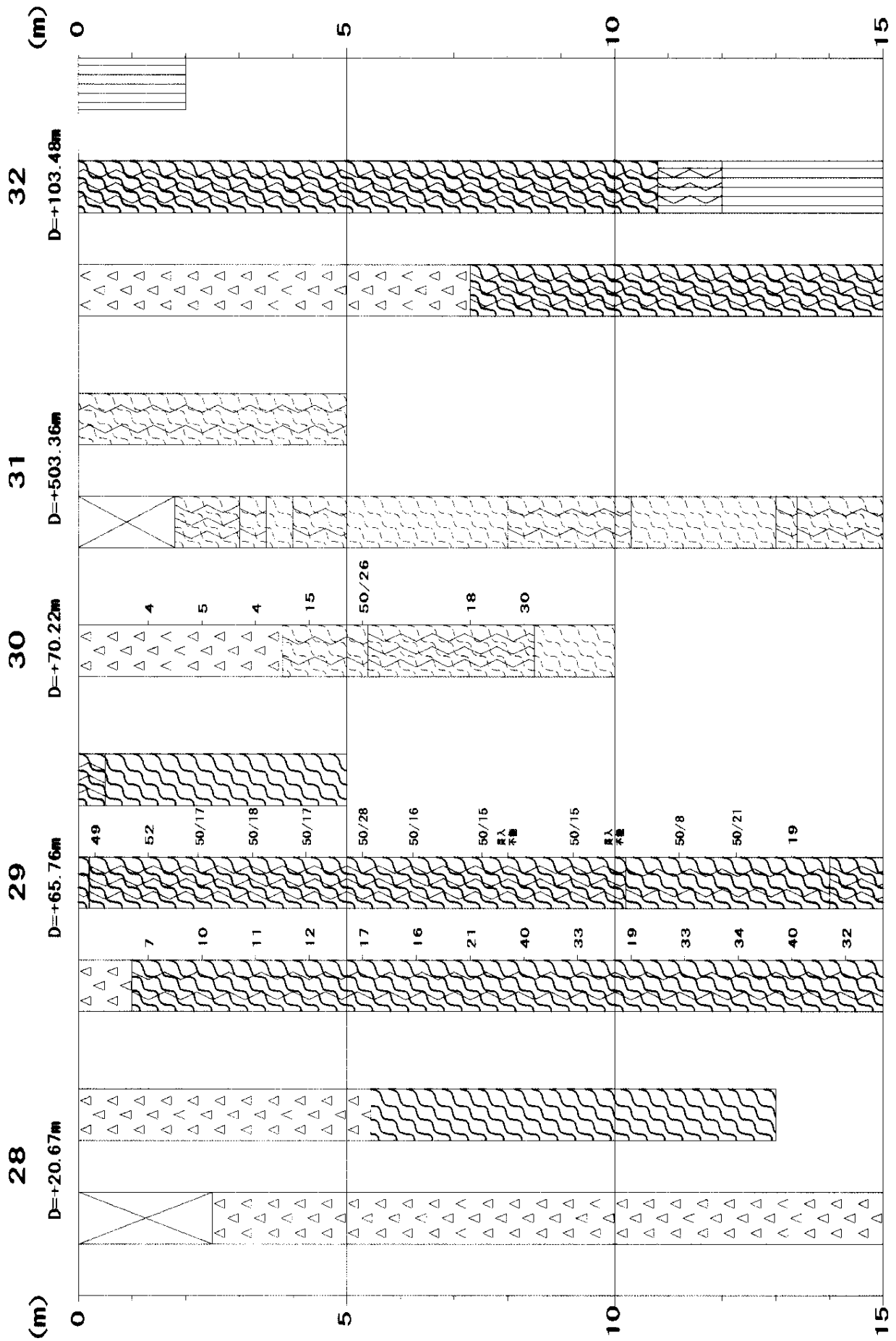
ボーリング柱状図 (その2)



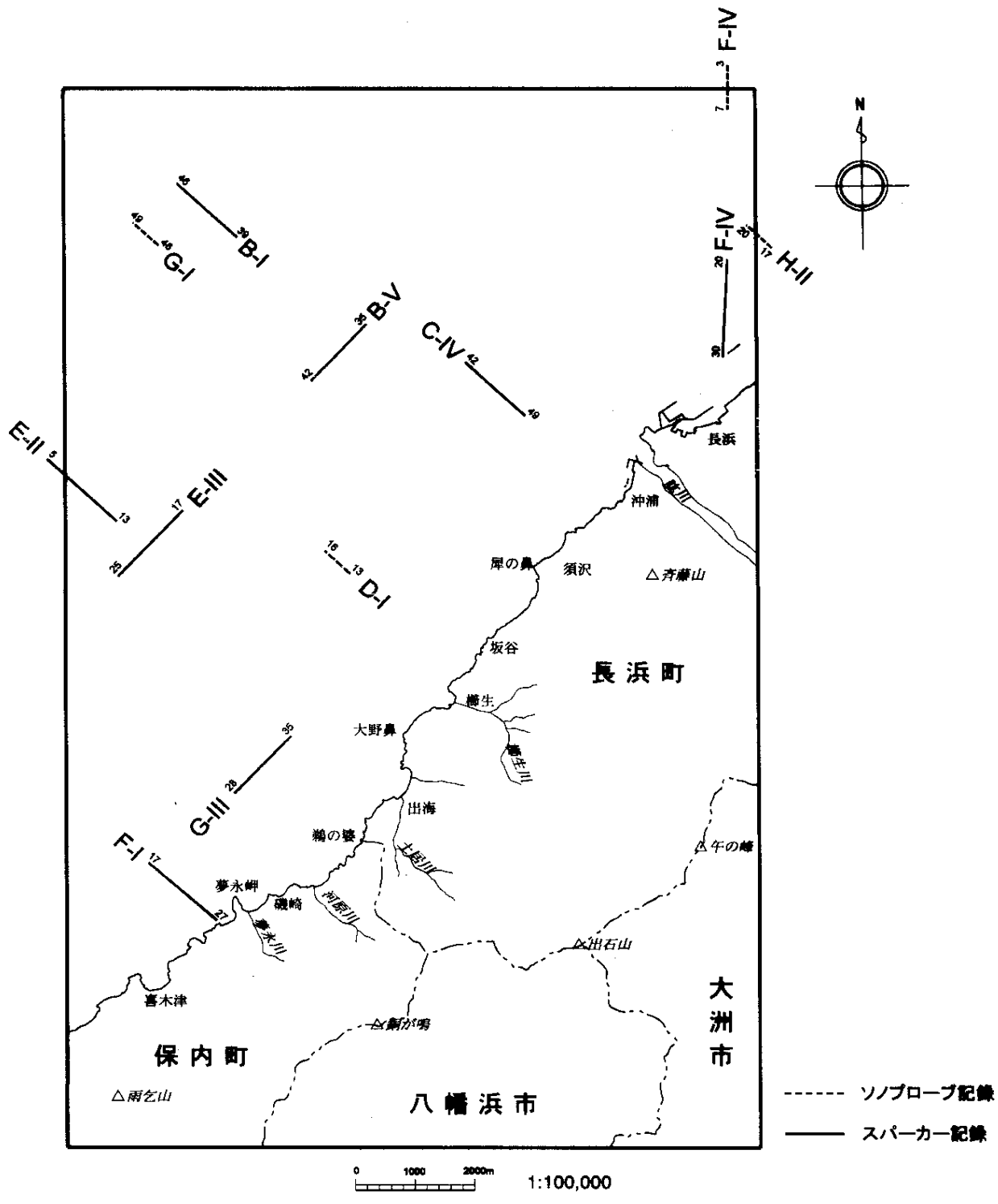
ボーリング柱状図 (その3)



ボーリング柱状図 (その4)

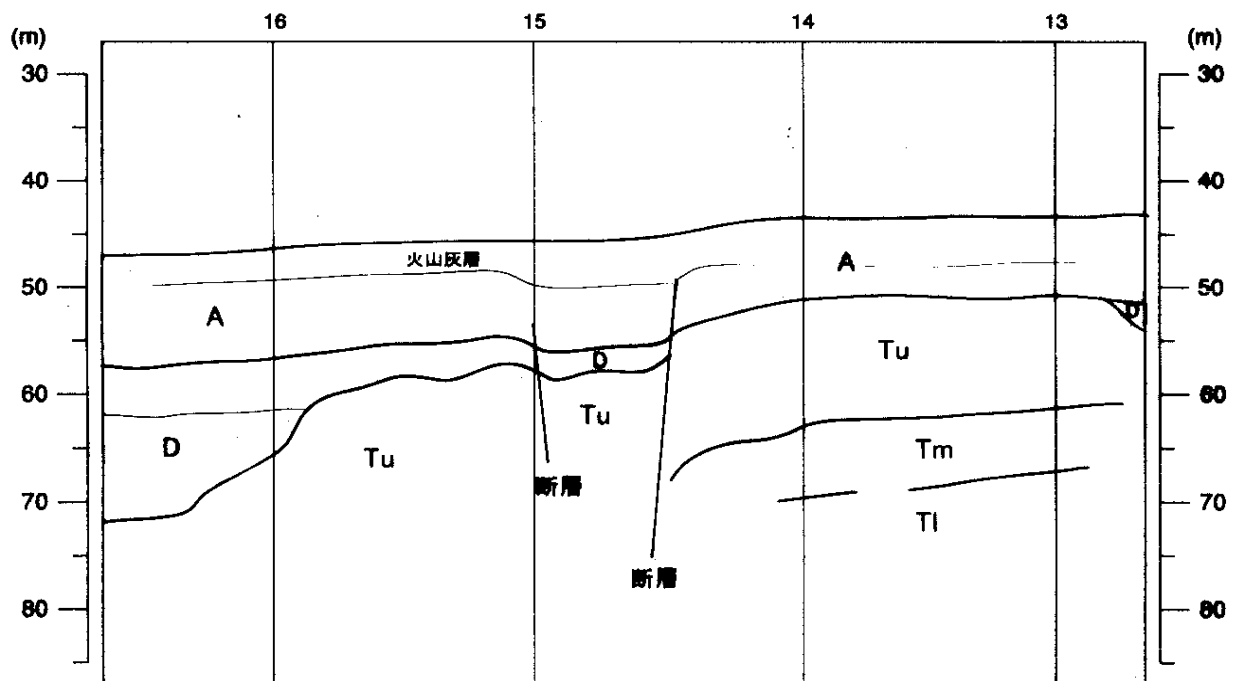
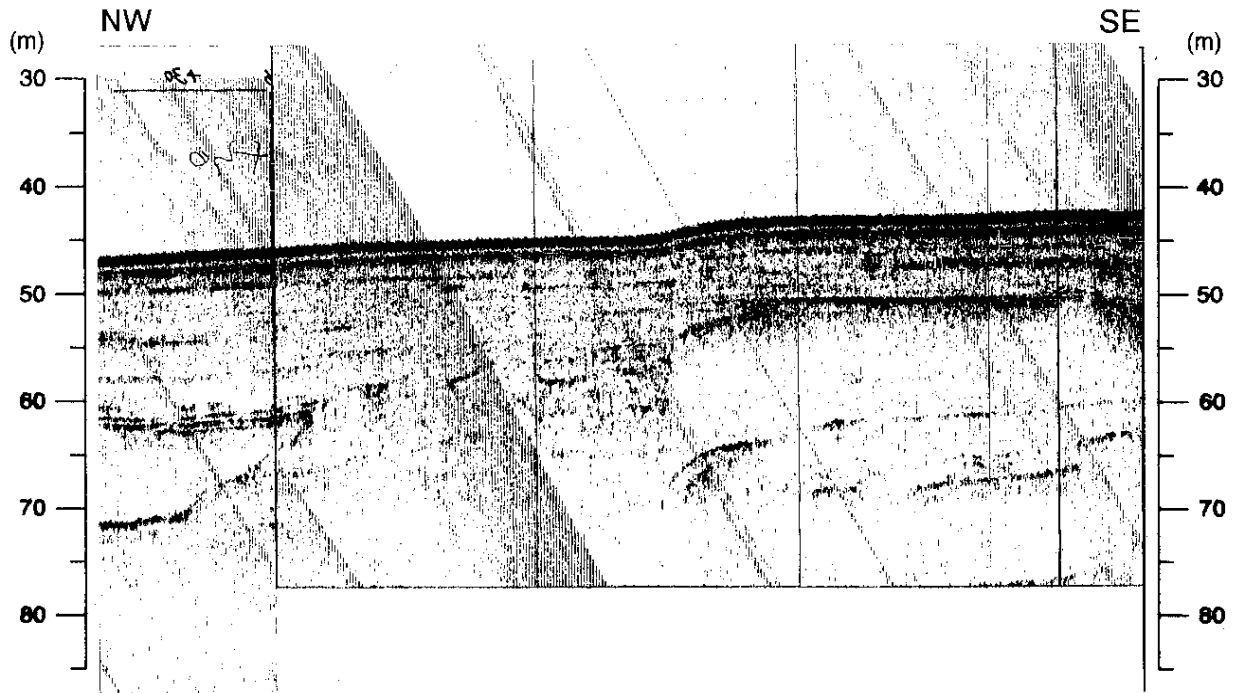


ボーリング柱状図 (その5)



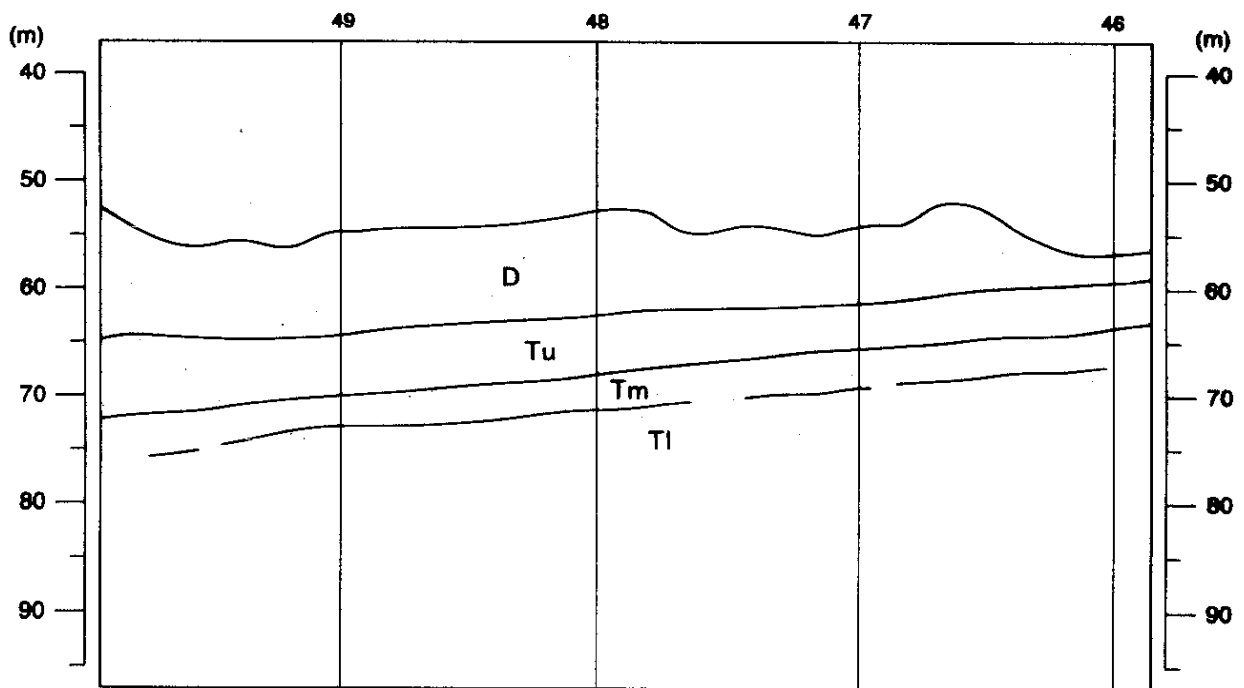
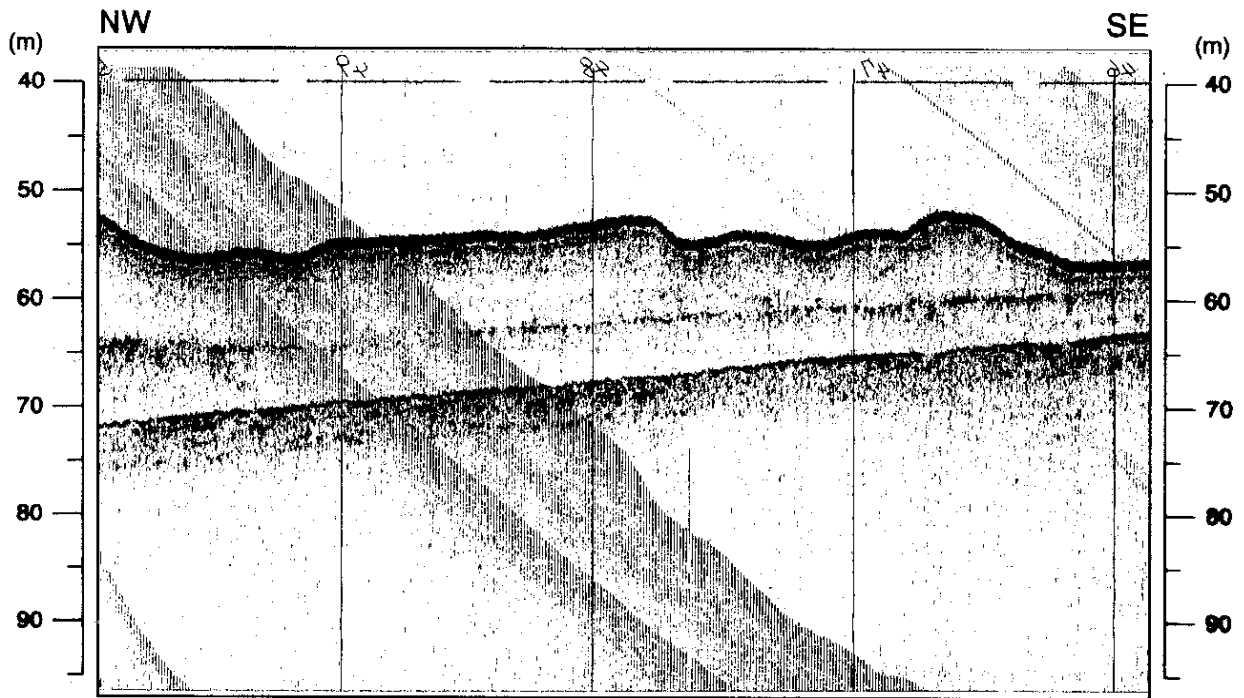
音波探査記録位置図

D-I



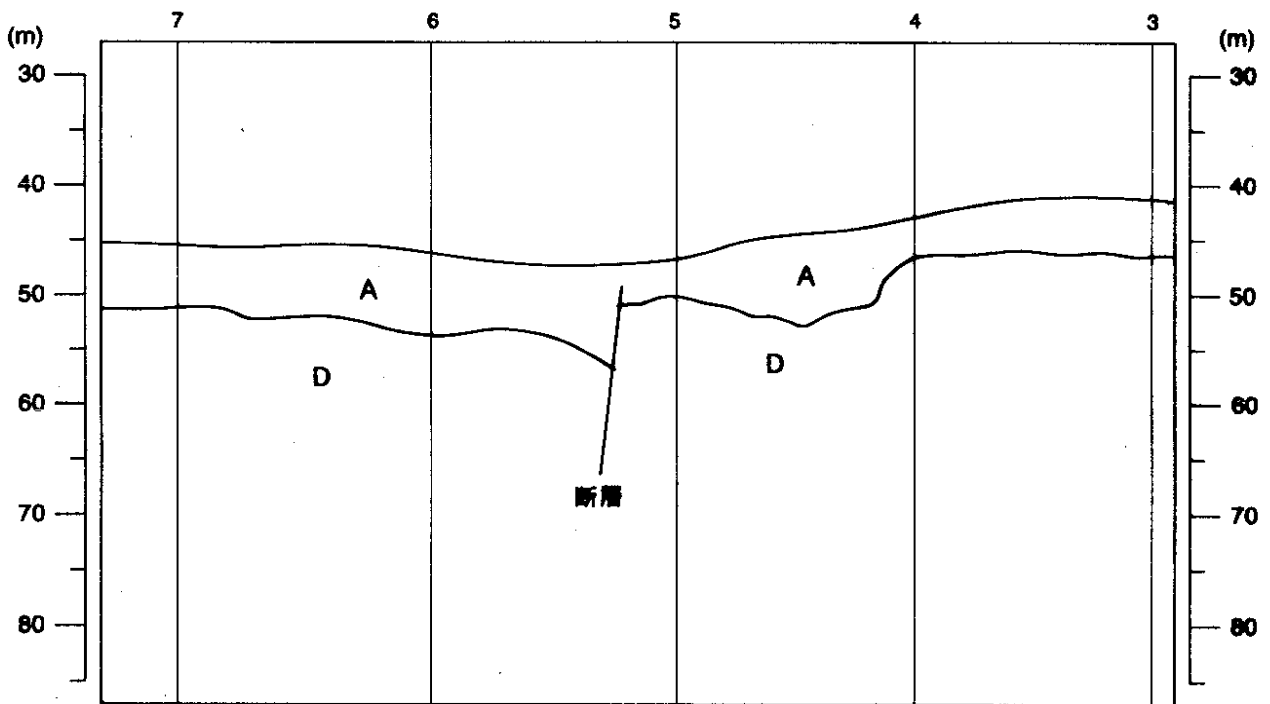
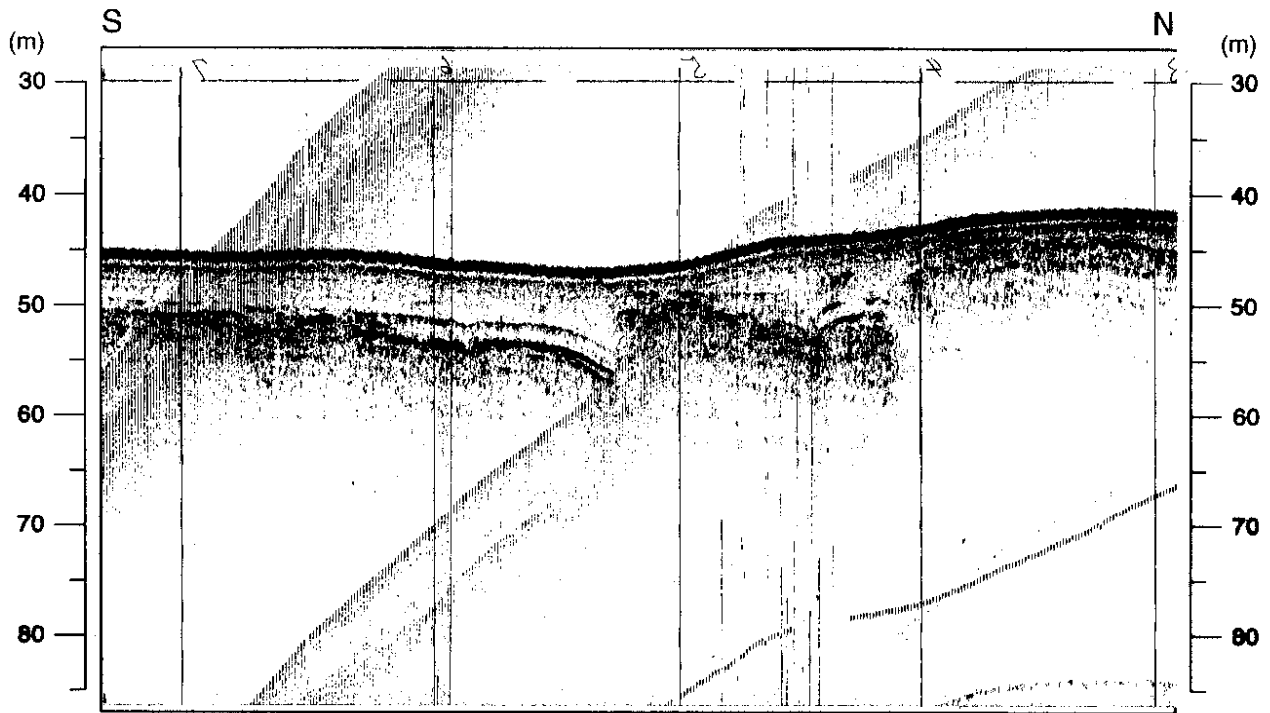
D-I測線のソノプロープ記録。櫛生北西沖合約3kmの海域である。冲積層(A層)内に変位を与えている2条の断層が確認できる。南東側の断層は海底面にも約1.5mの変位を与えており、半地溝状の地形を示している。冲積層内には火山灰層らしき反射面も認められる。

G-I



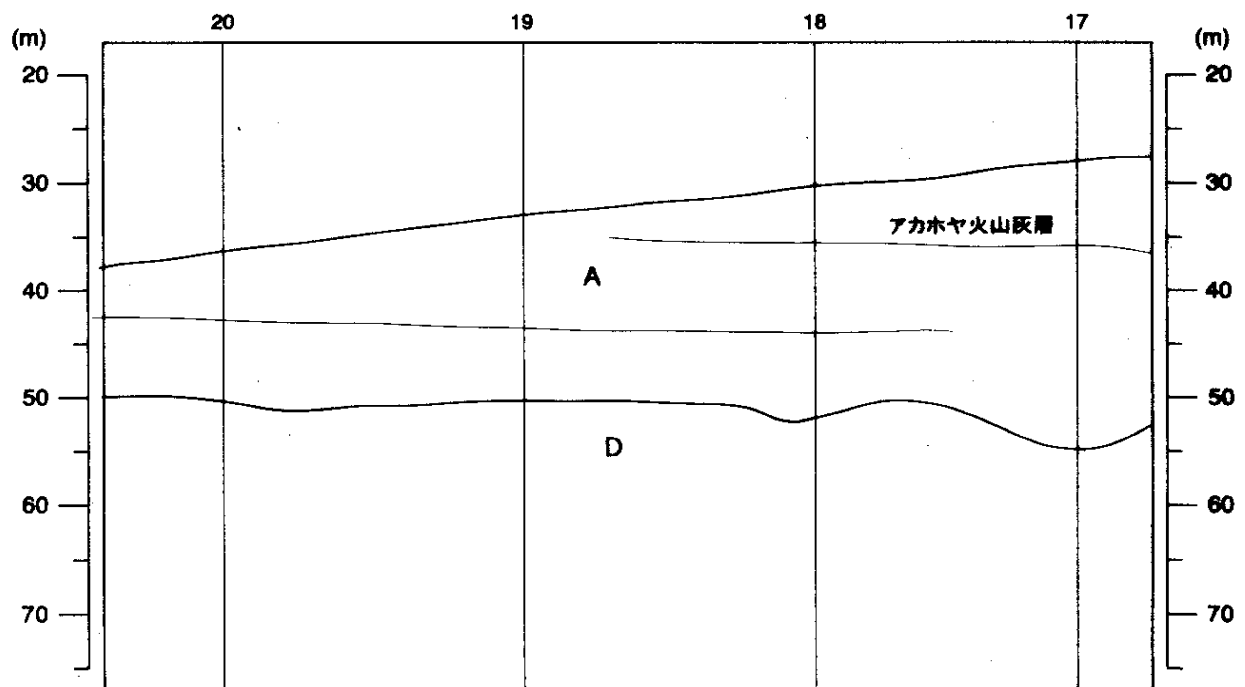
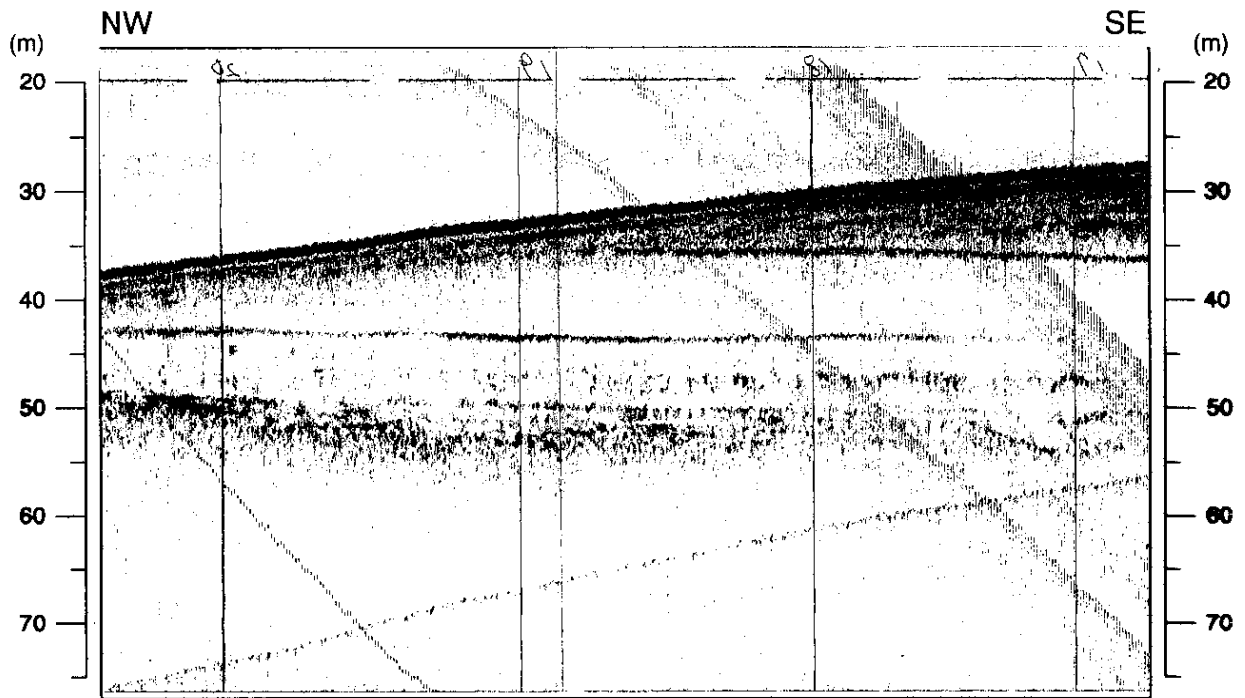
G-I測線のソノプローブ記録。屏の鼻北西沖合約8kmの海域で、海底には起伏をもってD層が露出している。D層内部は白く抜けてみえ、下位層上面の反射面も明瞭に確認できることから、細粒な堆積物から構成されていると考えられる。またTm層上面の反射面が明瞭である。

F-IV

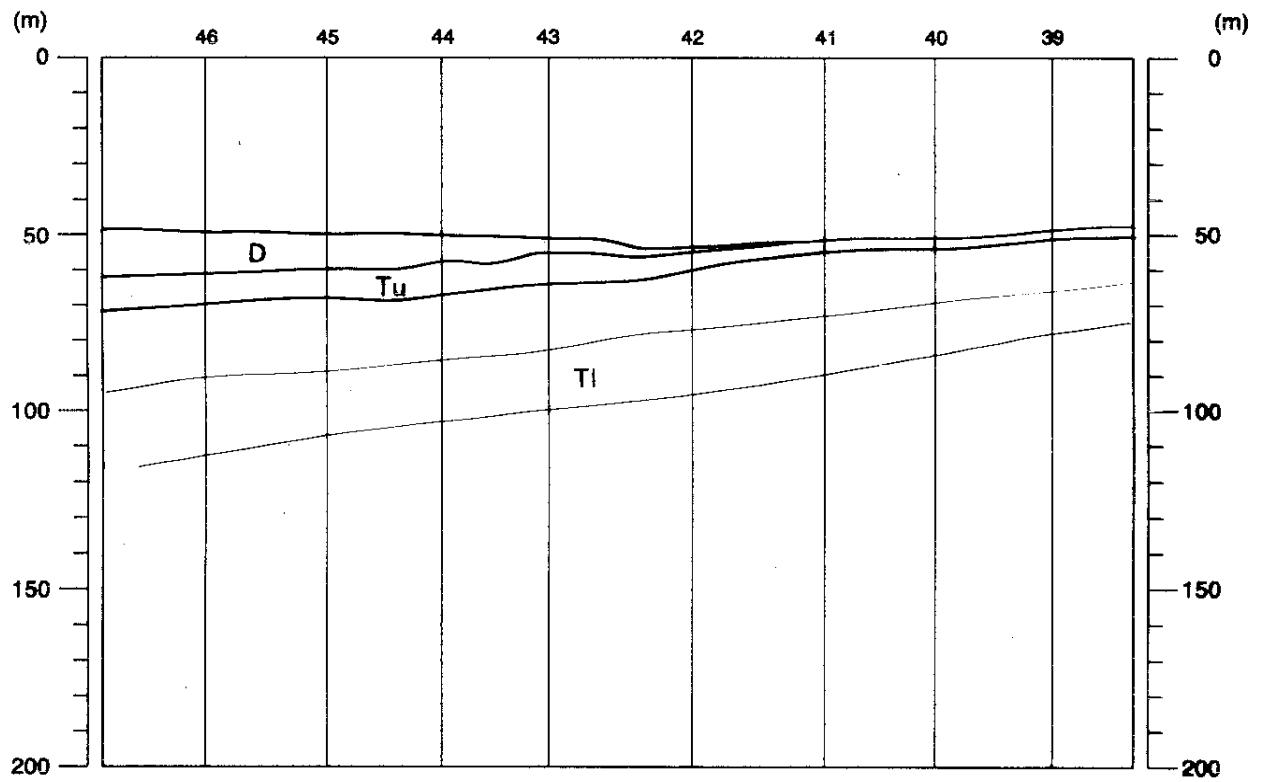
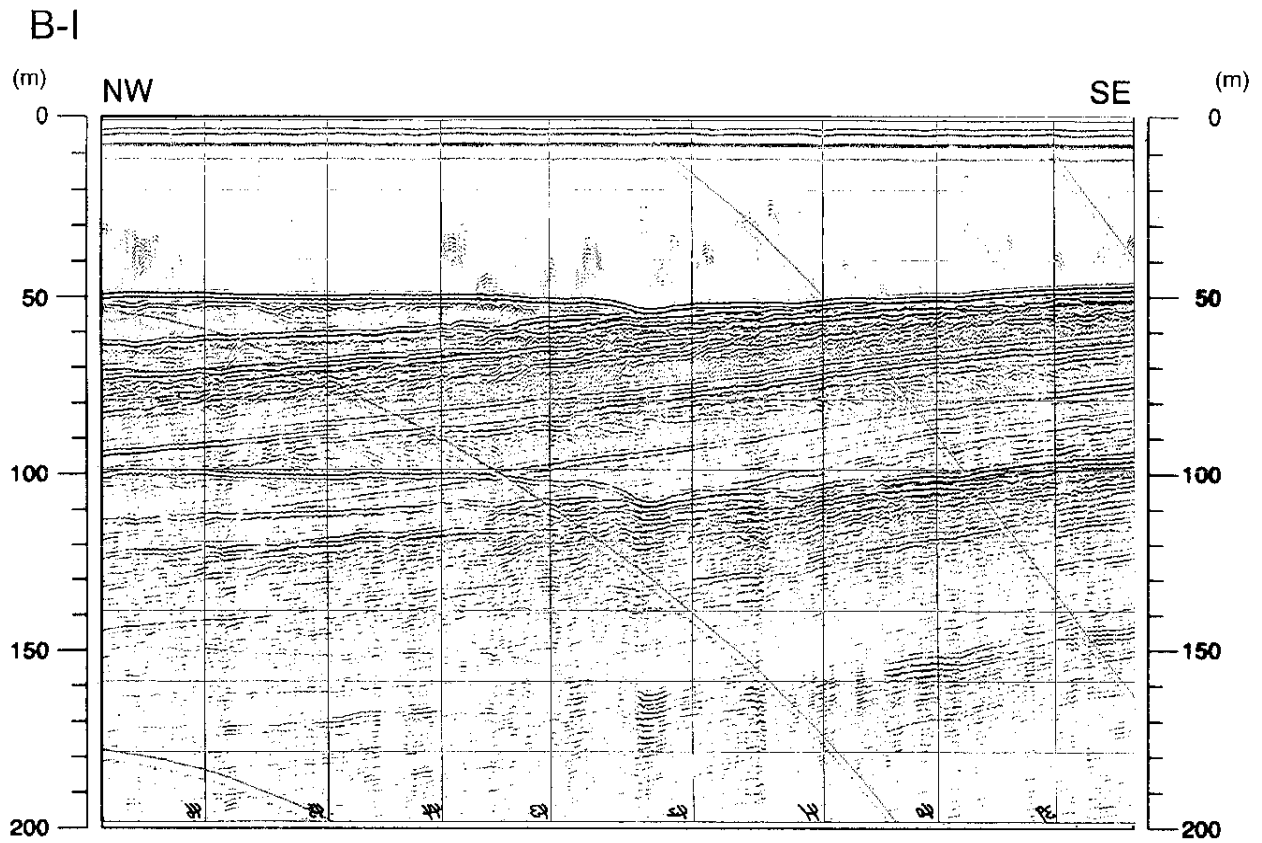


F-IV測線のソノプローブ記録。長浜港北方沖合約5.5kmの、調査海域北東縁付近である。海底面および沖積層内(A層)に変位を与えている南落ちの断層が確認できる。変位量は約5mで、下盤側が断層面に引きずり込まれるような形状を示していることから、横ずれ成分をとまなうものと考えられる。

H-II

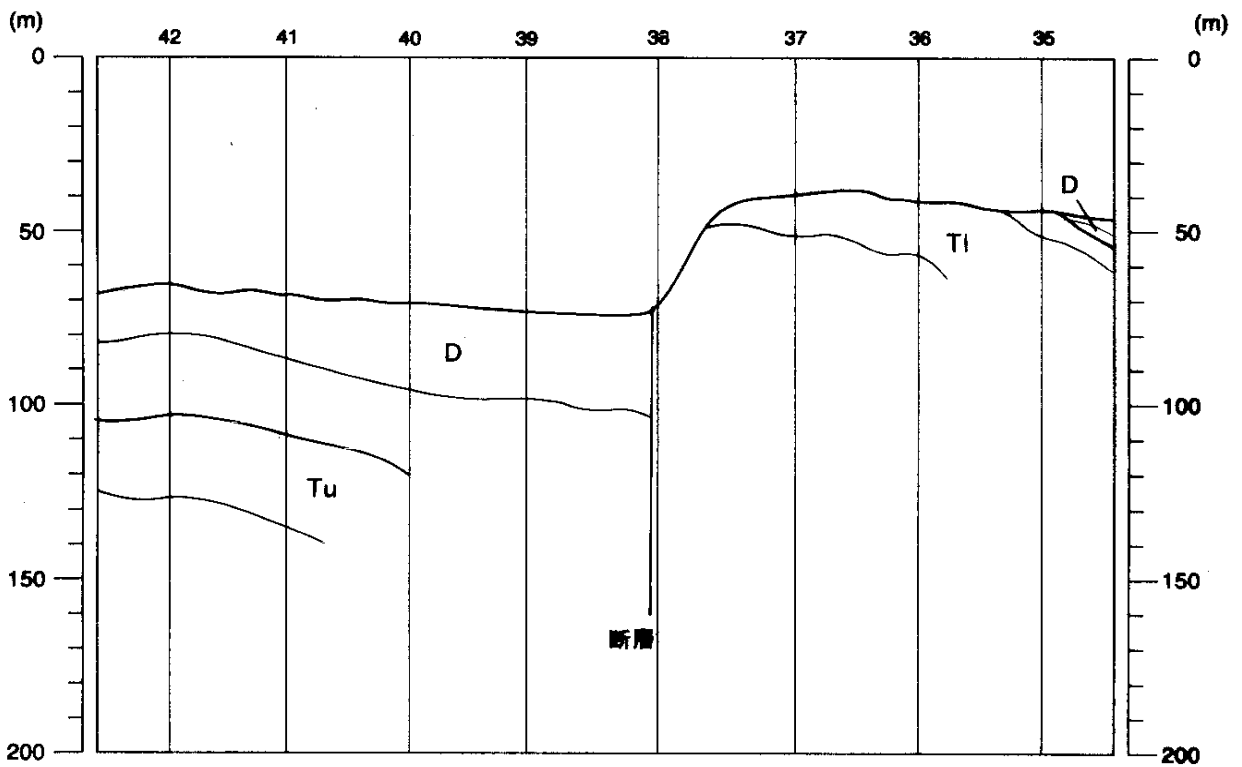
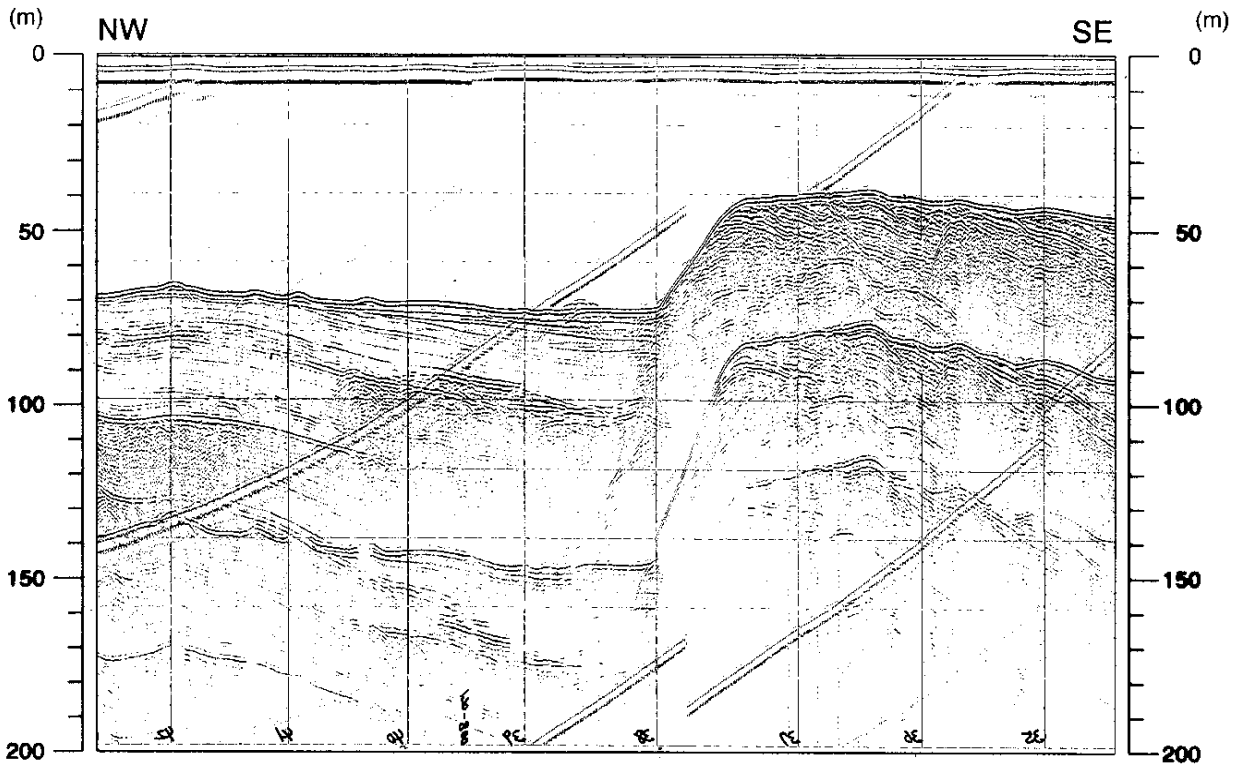


H-II測線のソノプロープ記録。長浜港北方沖合約2.5kmの、調査海域東縁部である。沖積層(A層)が20m以上と厚く堆積している。沖積層内の顕著な反射面は、火山灰層であると考えられ、35m付近のものは約6,300年前に噴出したアカホヤ火山灰層に対比できる可能性がある。



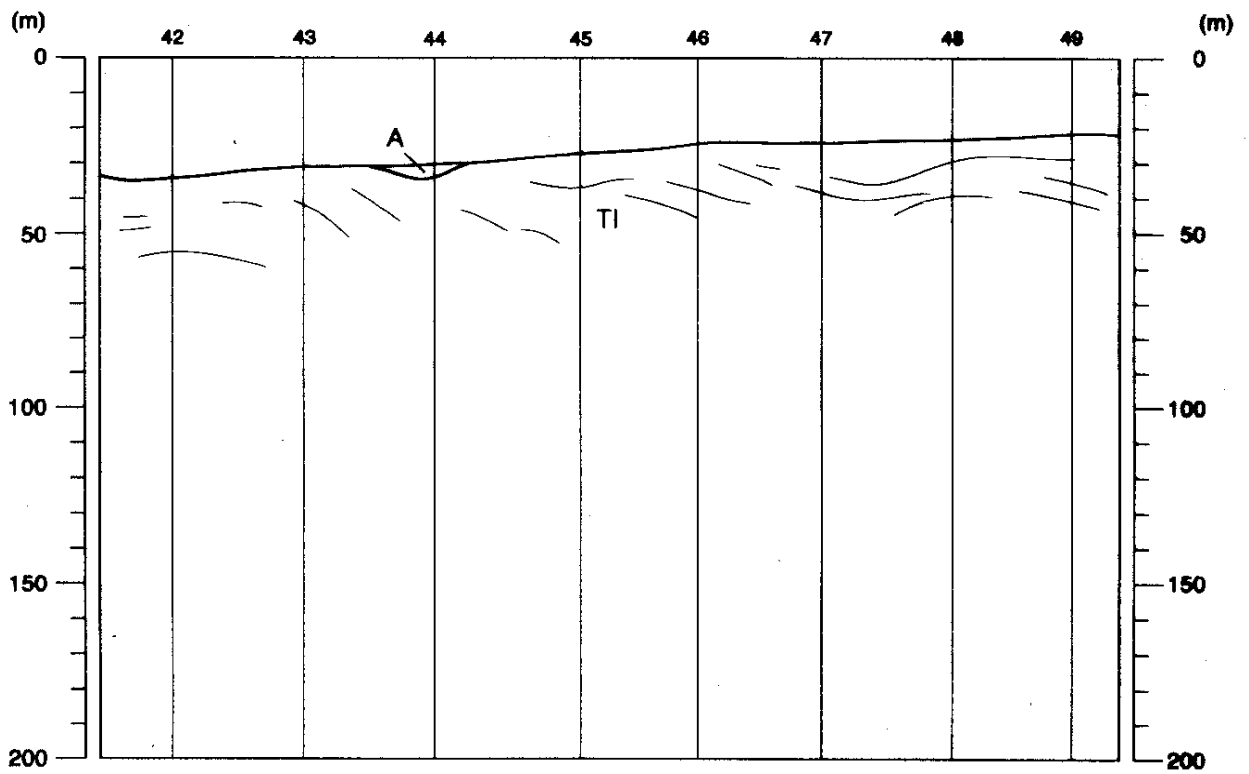
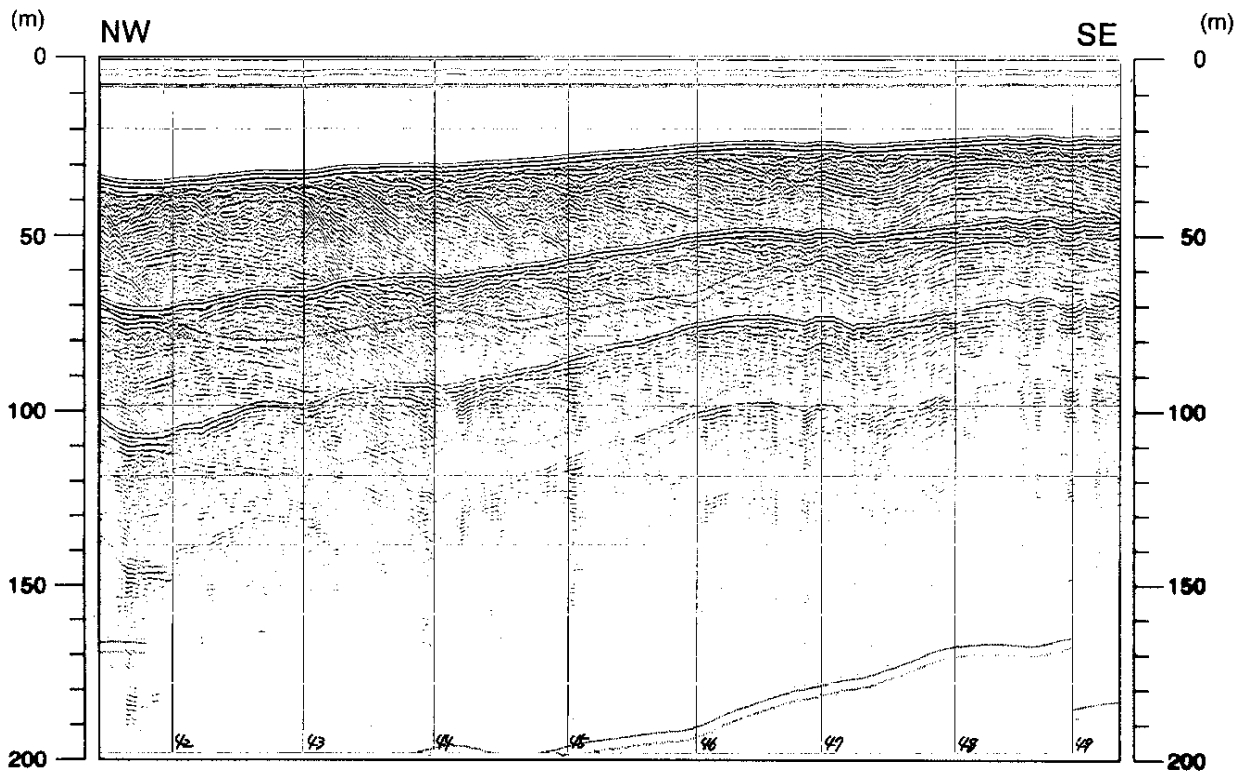
B-I測線のスーパーカー記録。岸の鼻北西沖合約8kmから9kmにかけての、調査海域北西部である。D層は白く抜けて見え、細粒な堆積物から構成されていると考えられる。Tu層以下の地層が緩やかに沖側に傾斜している。

B-V



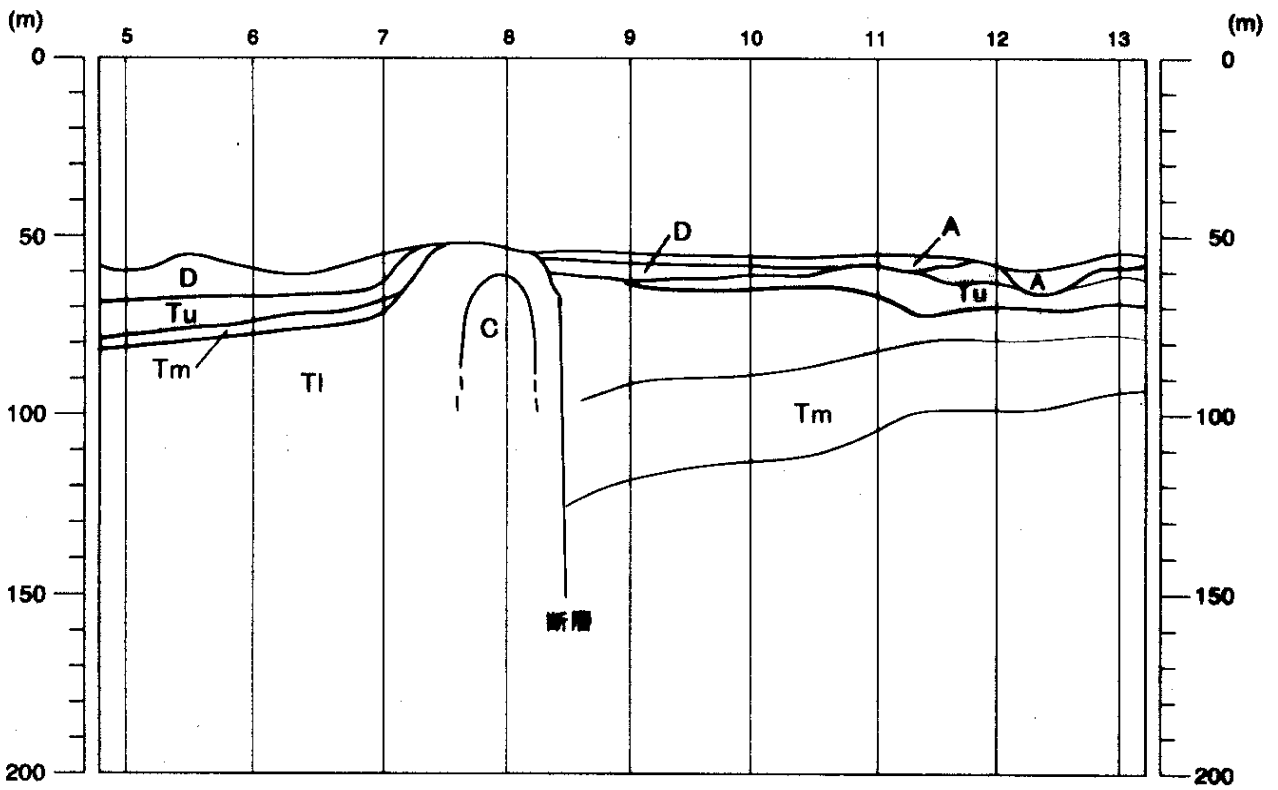
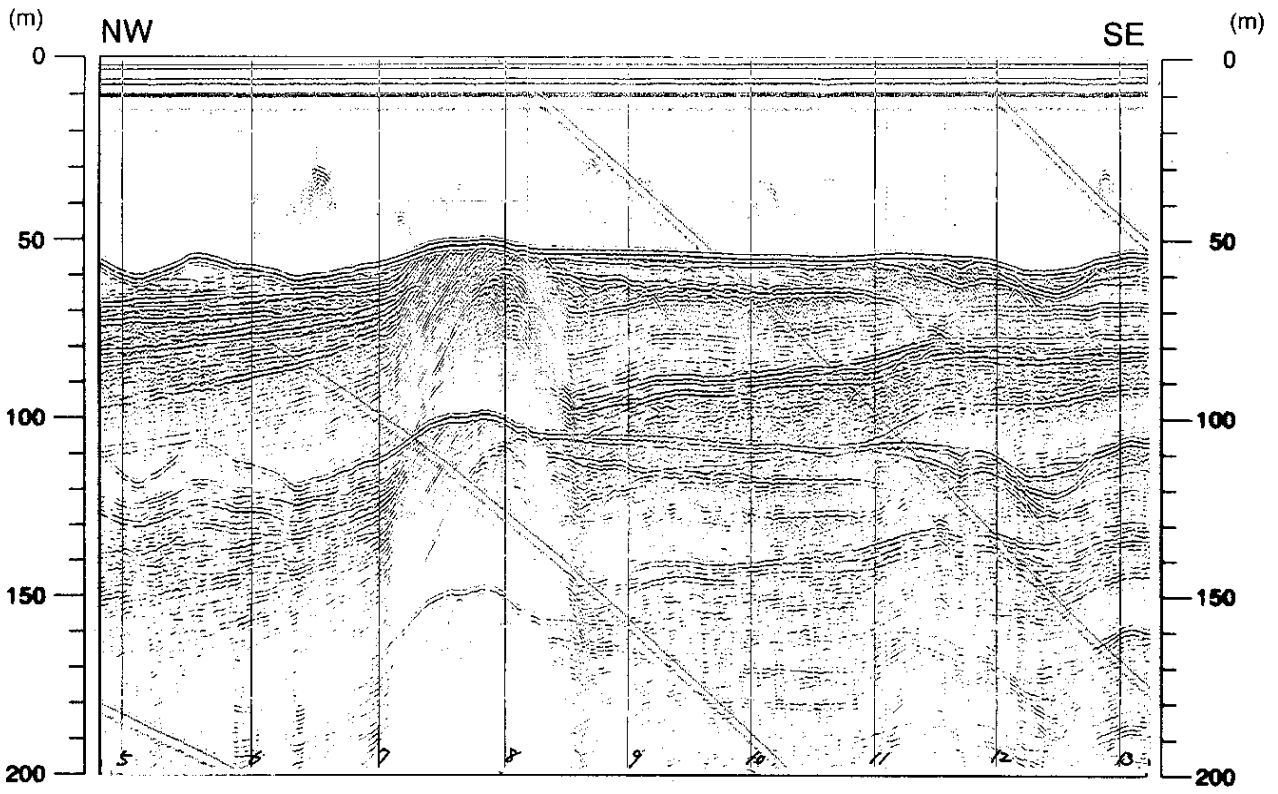
B-V測線のスパーカー記録。犀の鼻北西沖合約5km付近の、調査海域を北東から南西に横切る顕著な海底谷の谷壁部に相当する。北東側で海底に露出しているTl層は、断層によって南西側では確認できず、変位量は100m以上と推定される。南西側の谷底部にはD層が堆積している。

C-IV



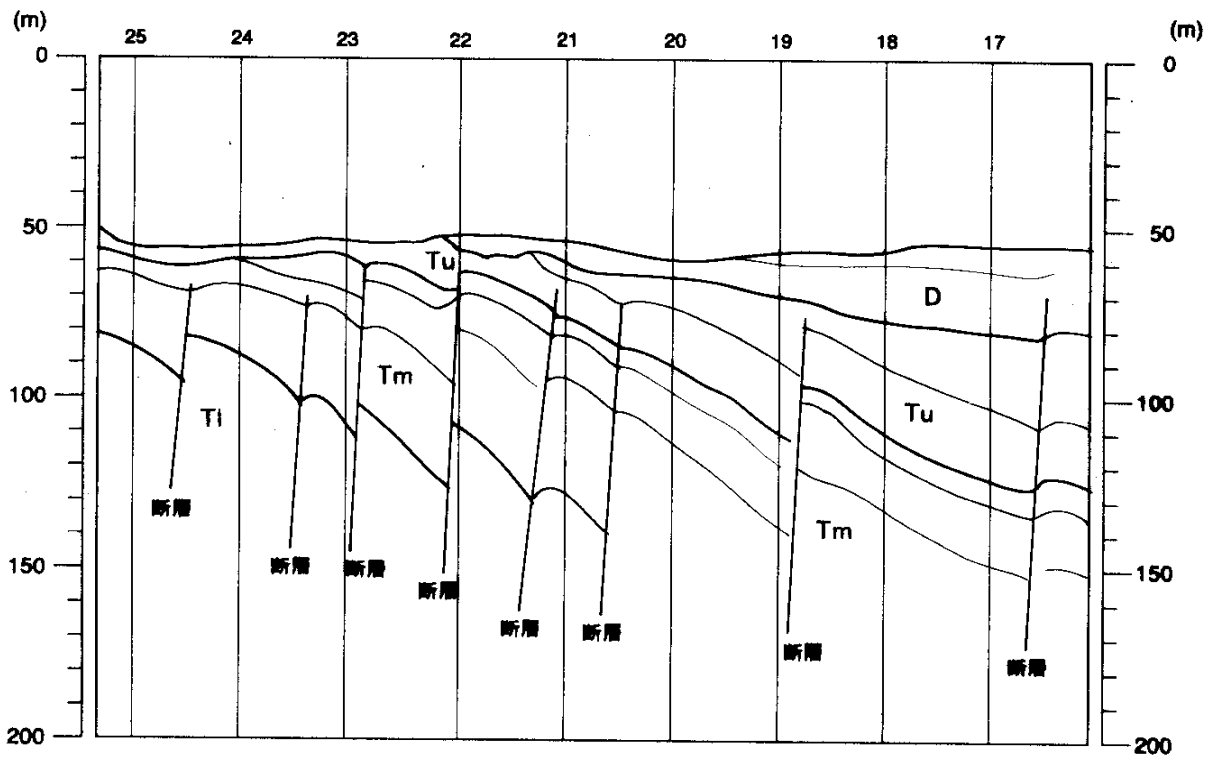
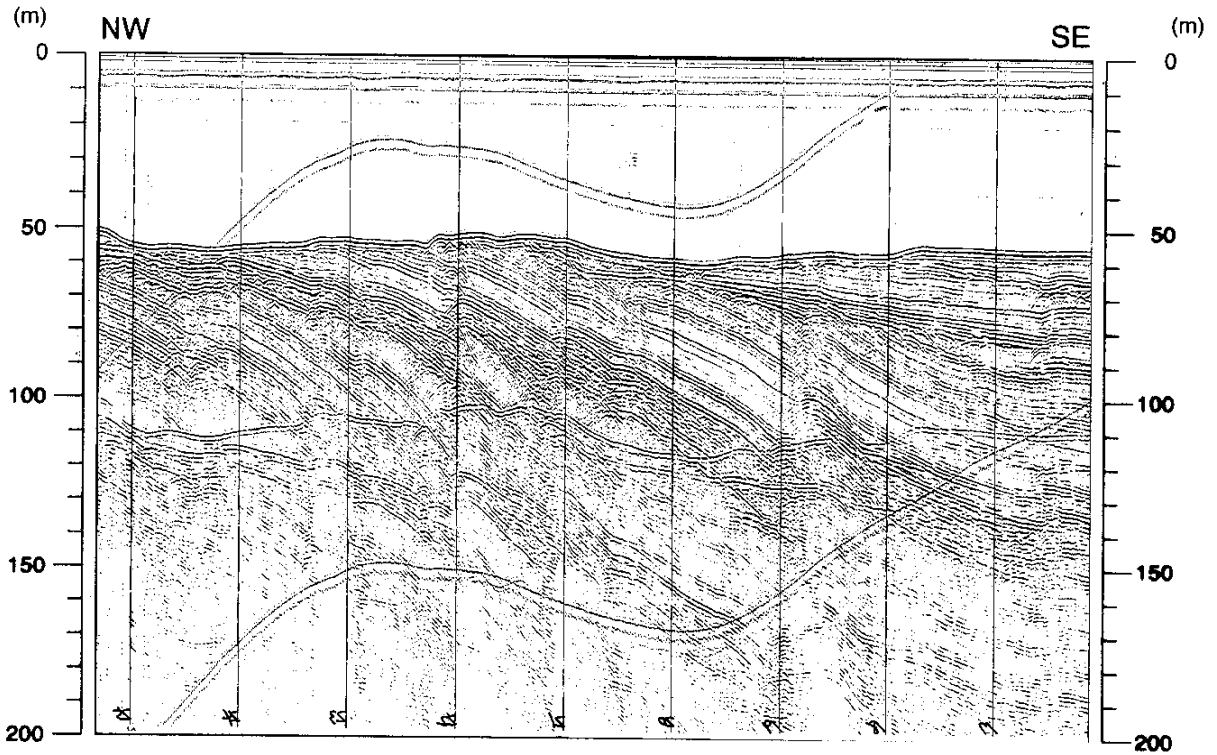
C-IV測線のスパーカー記録。肚川河口北西沖合約2kmから3kmにかけての海域である。T1層が海底に露出している。T1層内には層理面が顕著で、部分的に褶曲構造が確認できる。

E-II



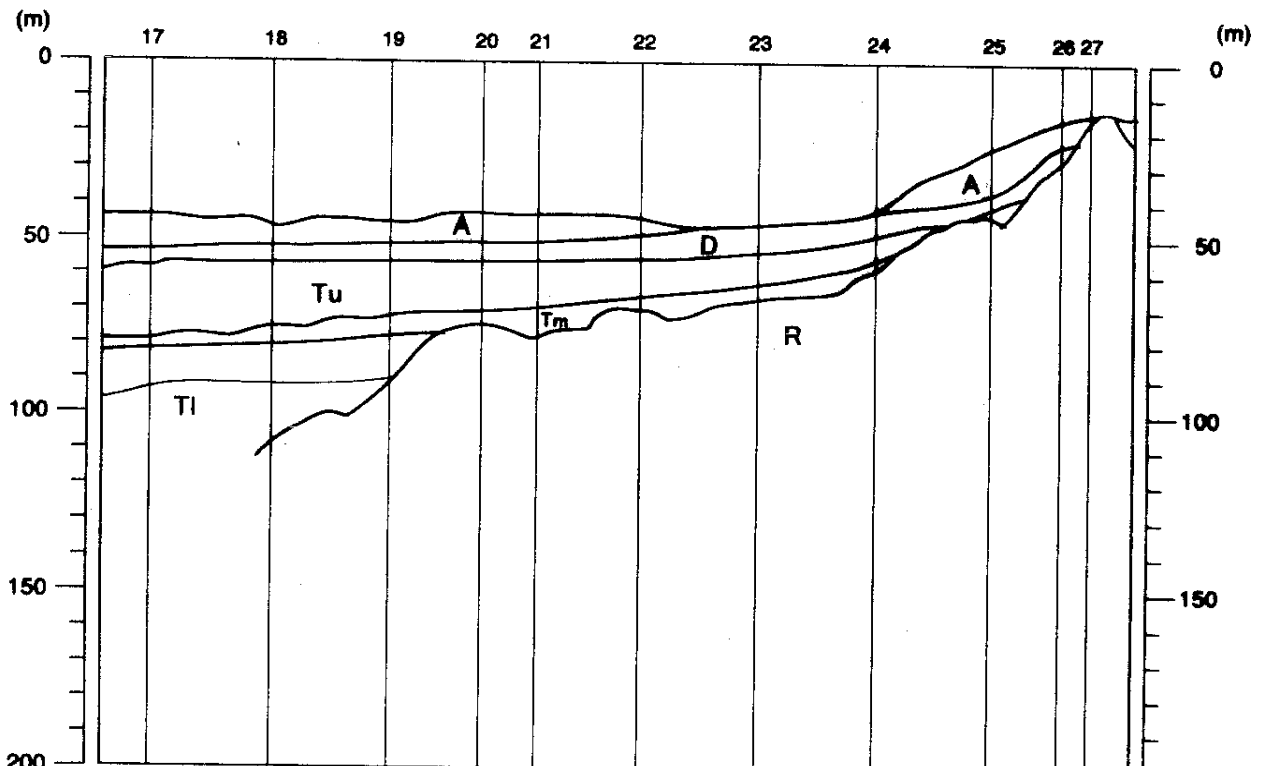
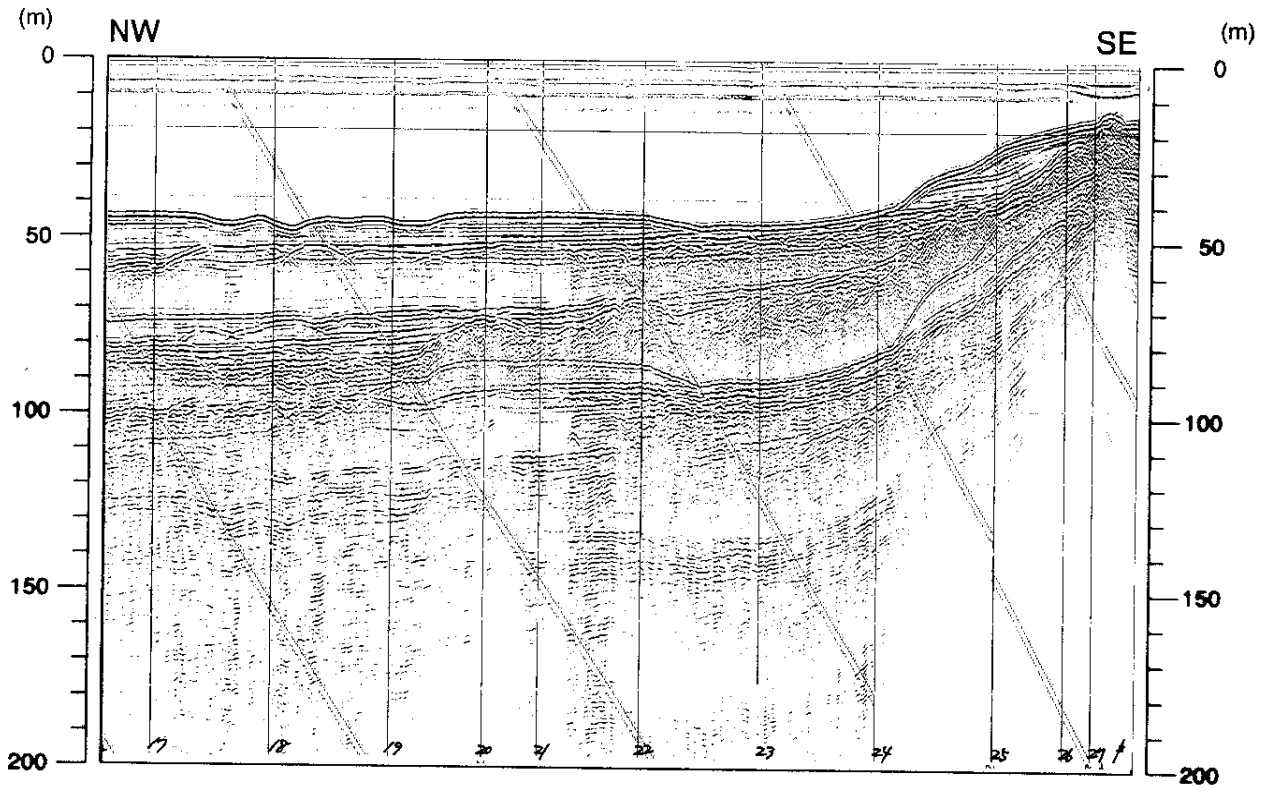
E-II測線のスパーカー記録。大野鼻北西沖合約6kmから7kmにかけての、調査海域西縁部である。断層のすぐ北西側では、衝上を受けているT1層中に強く散乱するパターンがみられ、C層(和泉層群相当層)とした。断層の南東側ではTm層が厚く堆積し、変位量は70m以上と考えられる。

E-III

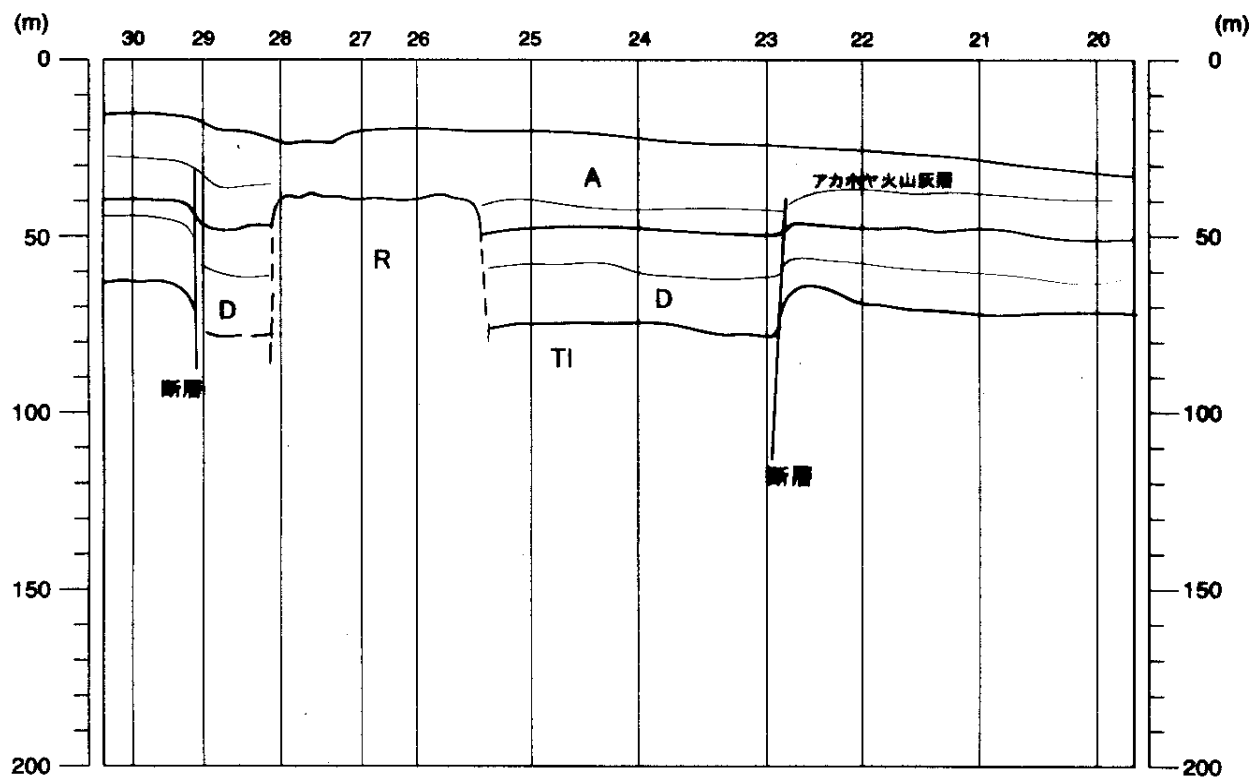
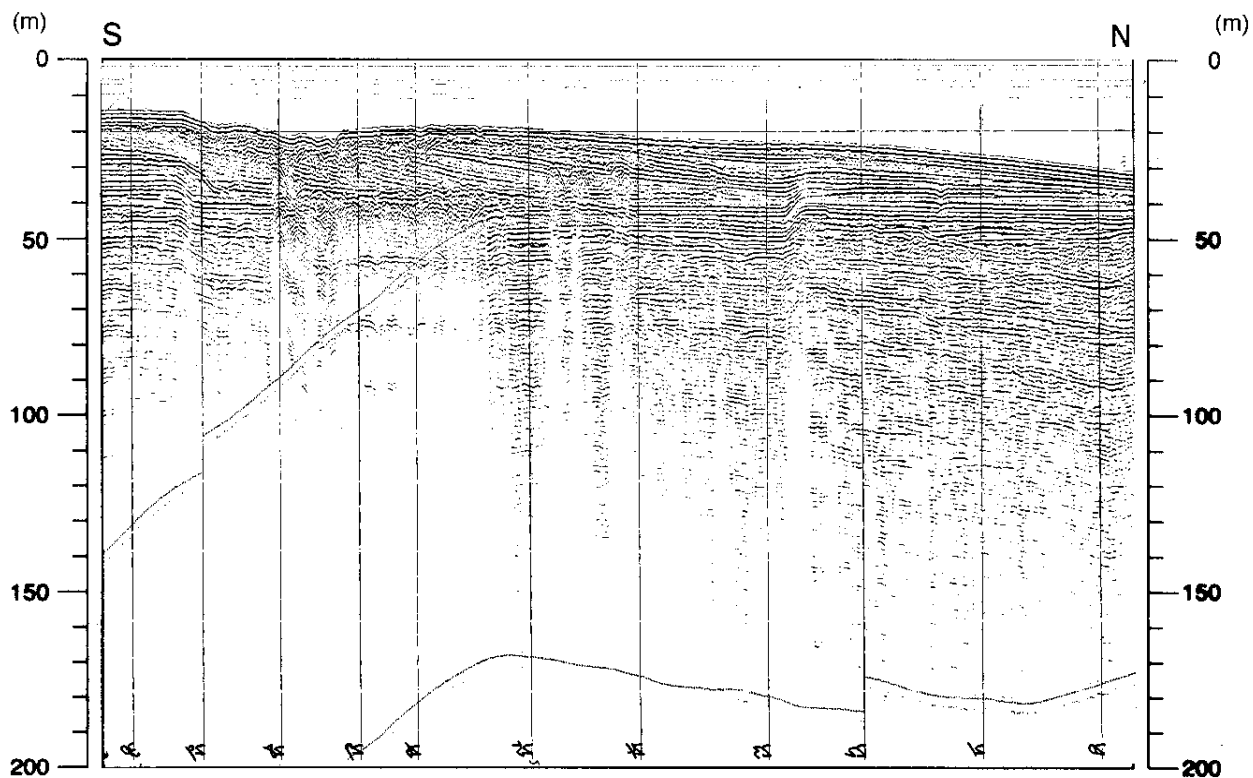


E-III測線のスーパーカー記録。大野鼻北西沖合約5.5kmの調査海域西部である。Tu層以下の地層に、断層による変異が顕著である。一部の断層はD層内にも変位を与えている。傾斜しているT層に対して、D層はほぼ水平に堆積しており、明瞭な不整合関係が確認できる。

F-1

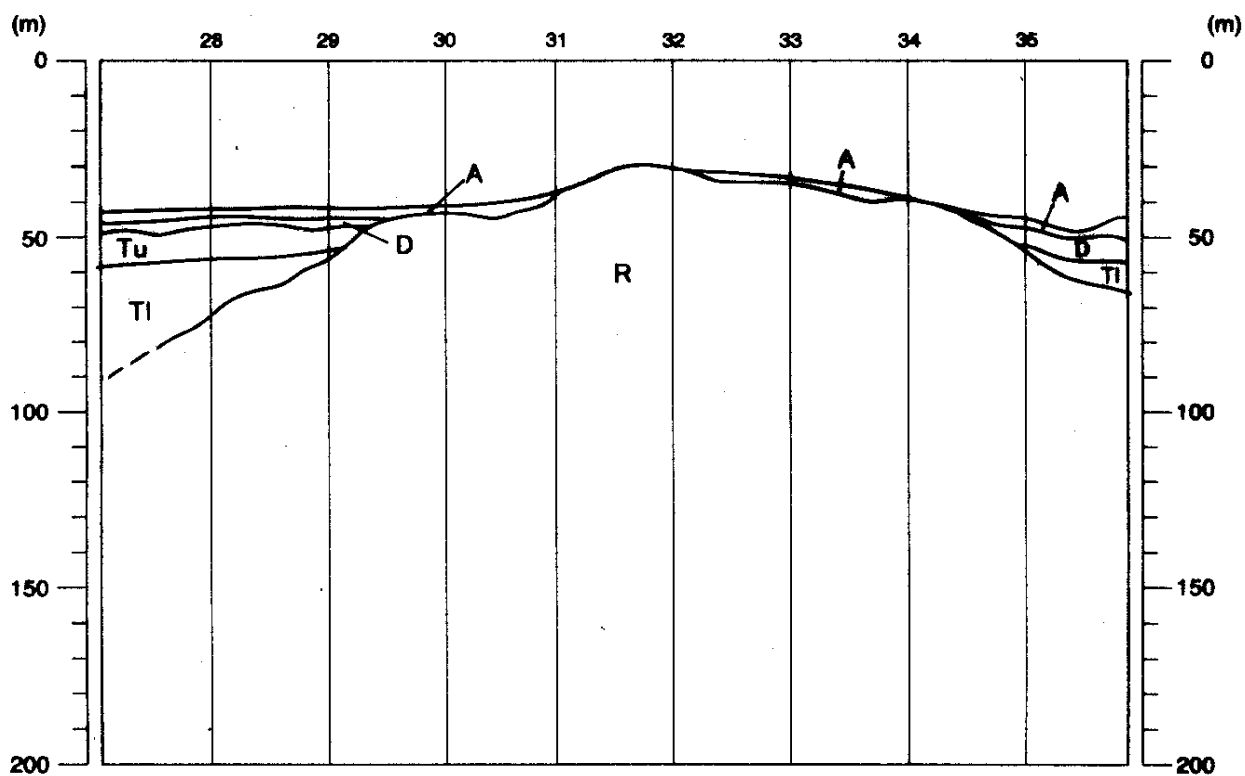
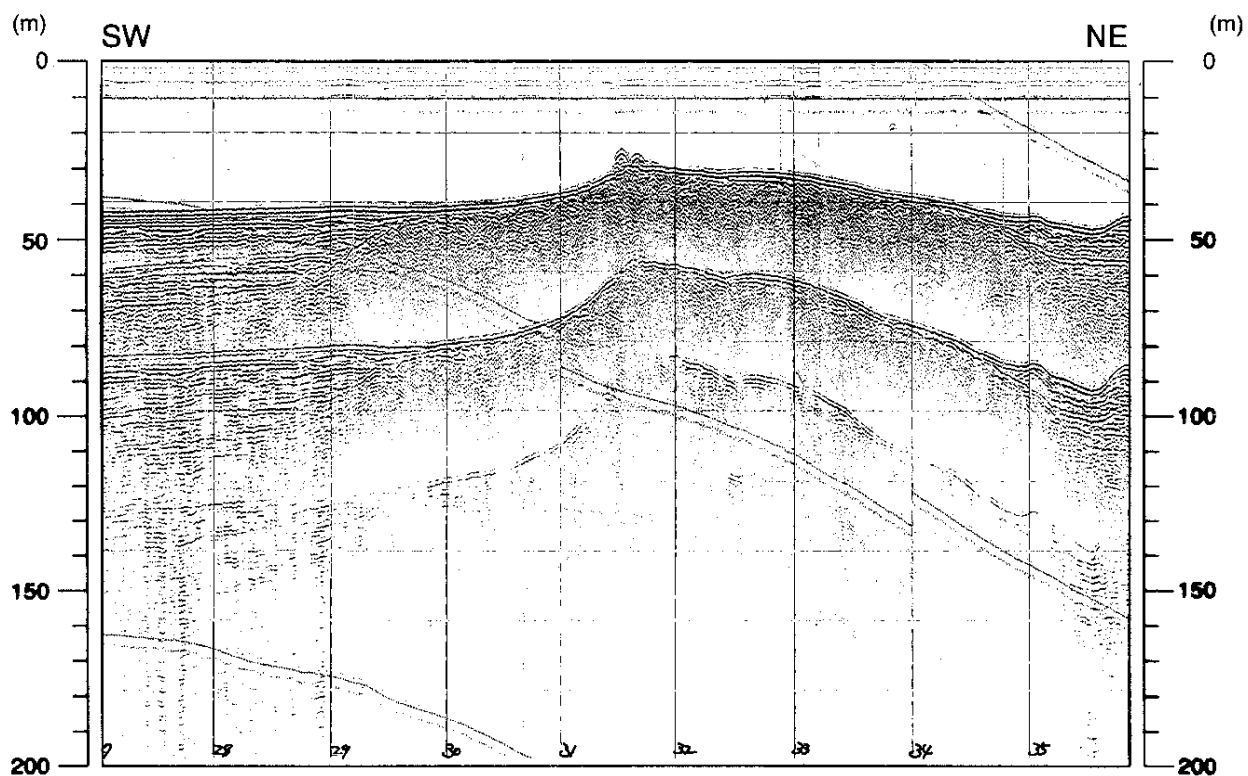


F-IV



F-IV測線のスパーカー記録。長浜港北方沖合約2kmから3kmにかけての、調査海域東縁部である。沖積層(A層)が20m以上と厚く堆積している。沖積層内の反射面が、断層によって変位を受けている様子が明瞭に確認できる。

G-III



G-III測線のスパーカー記録。夢永岬北方沖合約2kmから大野鼻西方沖合約2kmにかけての調査海域西部である。R層が海底に露出している。R層の内部は強く散乱し、陸域の三波川変成岩類に対比される。